

季刊 小林のぶゆき

第28号
2018年11月発行号

見える
わかる
変わる



横須賀市議会議員(会派:研政) 小林伸行の議会活動報告

無所属43歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索
住所 野比2-13-18 f t BLOG
Fax 050-3737-3872
移動事務所 ☎ 070-6640-3927
✉ info@kobayashinobuyuki.com
Web http://kobayashinobuyuki.com
野比在住。昭和50年9月3日、福島県生。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書として修行し、2011年4月より横須賀市議会議員。マニフェスト大賞でも6年連続で受賞するなど政策派として活躍

特集

廃校しちゃうの？ 小学校



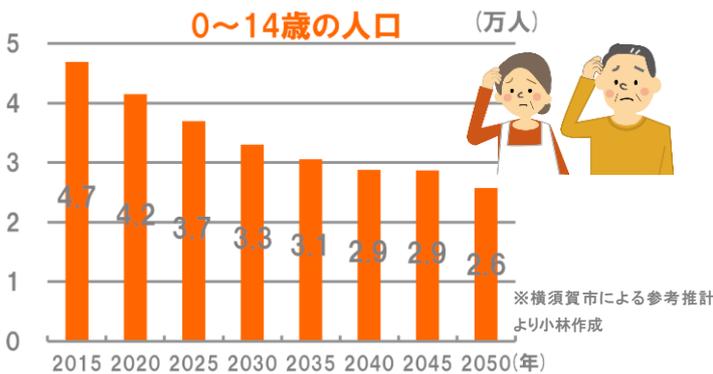
特集

廃校しちゃうの？小学校



◆少子化で、小規模校が増えている

本市では、子どもが減っています。今後も減ります。



この結果、何が起きているのか？ 実は、本市の小学校46校のうち、表の11校が小規模校となっています。小規模校とは、学年に1学級でクラス替えができない学校のことです。つまり、6学年×2学級＝12学級より少ない学校です。前市長時代に策定された「施設配置適正化計画」では、統廃合の対象ともなっていました。



※横須賀市「平成30年度児童・生徒学級数調査」より小林作成

学校名	普通学級数	1学級のみ の学年	生徒数
追浜	6	全学年	126
鷹取	11	3年生	286
田浦	6	全学年	170
長浦	6	全学年	157
逸見	6	全学年	97
沢山	6	全学年	100
桜	10	3・5年生	266
汐入	6	全学年	108
豊島	11	5年生	268
走水	6	全学年	54
荻野	8	1～4年生	191

しかも、11校中7校は6学年とも1学級となってしまっており、おおよそ1学年に20人前後のイメージです。生徒数最少の走水小に至っては1クラス6人の学年すらあります。なお、他に馬堀小・北下浦小・富士見小の3校が、あと数人減ると小規模校に転落するおそれがあります。(ちなみに、中学校23校には小規模校がありませんが、鷹取中が危険信号です。)

◆小規模校をめぐる色々な考え方

生徒数が少なくなったら、強制的に統廃合すべきなのか？ それとも生徒がどんなに少なくとも、統廃合すべきでないのか？ 色々な考え方があります。

国の考え方

国では「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする」と定めています。ただし、「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない」とも述べています。※文部科学省「学校教育法施行規則」第41条

市の考え方

かつて教育委員会は基準に満たなければ統合の方針*1 でした。しかし現在では適正規模になるよう検討する程度*2 で徐々にゆるめています。統廃合計画を撤回した現市長もコミュニティの核として小規模校も維持する方向だと私は見えています。ただし、財政面でいづれ統廃合が必要になると見る職員もいます。

*1 平成9年「小・中学校の統合方針」

*2 平成27年「市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針改定版」

※イラスト提供：わんぱぐ http://www.wanpaku.com/

◆では、小規模校をどうすべきなのか？

本市は地域ごとに状況が違います。そのため、一律に基準を当てはめるべきではないと私は思うんです。

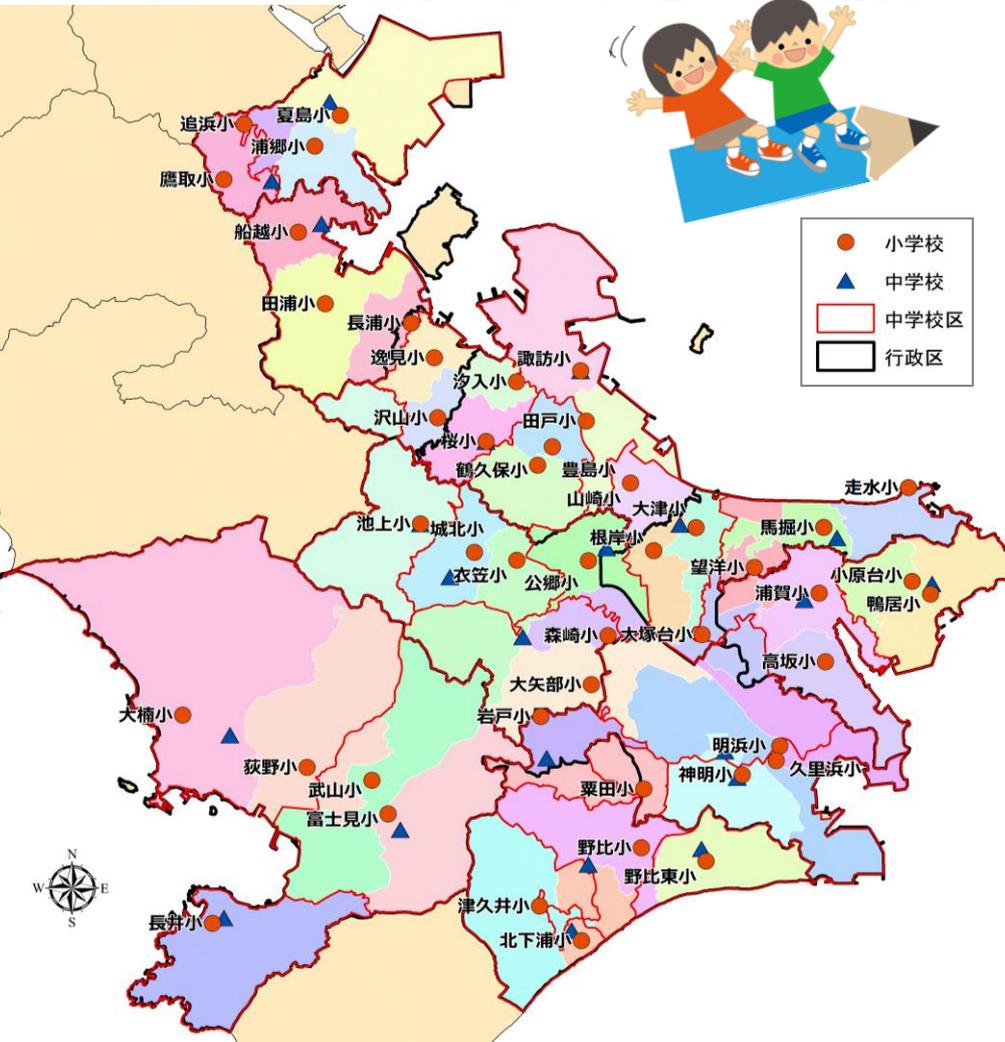
とはいえ、誰を考慮して判断すべきなのでしょう？
教師か？ 町内会・自治会か？ 市の財政か？

いえ、私は「あくまでも生徒が第一」だと思います。
その意味では、学校再編をする場合の方向性だけ

地域と市で決めておいて、実際に再編するかどうかは各校のPTAに判断を委ねるのがいいと思います。小規模校にはメリットもデメリットもあり、それをどう考えるかは親の教育方針次第なのではないでしょうか。

◆小林が考える地域別の再編の方向性

私は、学校はできるだけ残したいので、こんな方向性を考えています。↓みんなで議論していきましょう！



- **追浜:** 学区変更でマンモスの浦郷小から追浜小・鷹取小に生徒を移し、全校維持
 - **田浦:** 長浦小と田浦小を統合。空いた校舎は廃止せず公共施設として複合化
 - **逸見:** 沢山小・逸見小を統合。空いた校舎は廃止せず公共施設として複合化
 - **本庁:** 汐入小は桜小に統合し、校舎を「汐入インターナショナル・スクール」に転用(チラシ20号参照)。豊島小は学区変更で鶴久保小から生徒を移して維持
 - **大津:** 走水小を馬堀小に統合し、距離を考えてスクールバスを公費で導入。望洋小の飛び地と馬堀小も学区変更
 - **衣笠:** 学区を中学校と揃える調整のみ
 - **浦賀:** 学区を中学校と揃える調整のみ
 - **西:** 学区変更で荻野小に生徒を移し、全校維持
 - **久里浜:** 学区を中学校と揃える調整のみ
 - **北下浦:** 学区変更で北下浦小に生徒を移し、全校維持
- ※ただし建替を伴う場合は中学校と合築を

イベントのご案内 (詳細はWebなどでもご覧頂けます)

11/19(月) 18:30~20:30@ヴェルクよこすか 6F ホール
有志議員の広聴会「どうする?うわまち病院&市民病院」



●主催:よこすかの医療の未来を考える会 ●参加費:無料

11/23(祝) 14:00~16:00@産業交流プラザ 第一研修室
講演会「逗子は、なぜ横須賀から独立したのか?」

~知られざる分離独立運動、浦賀・逗子の明暗~
●主催:市民と市議の基地問題懇談会 ●資料代:¥500

12/1(土) 14:00~16:00@産業交流プラザ 第一研修室
第19回有志議員で市民の声を聴く会

●主催:小室卓重・高橋英昭・小林伸行
●参加費:無料



応援してください!

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

小林のぶゆきの基本政策

見える 誰が何をどう決めてるのか ぜんぜん見えない……。市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる 難しい説明をされてもよくわからない……。いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。
必ず私、小林伸行が自分で目を通します!

